

◆ 部活動のその先にあるもの ◆

「まだ3年生を引退させるわけにはいかないだろう！」

ある部活動地区予選の試合のさなか、休憩中に顧問が生徒にこう話をした。

それまでリードしていたものの、緊張のためか動きが固くなってしまったチームは息を吹き返し、そのまま相手チームを振り切ることができた。

昨年は試合もままならないまま、ほぼ全ての部活動で3年生が引退を迎えた。その時感じた思いについては、このメッセージでも度々触れてきた。今年は何とか各種大会が継続され、本校生も様々な部活動で試合に臨むことができている。保護者の皆さんを始め、大会に関係する全ての皆さんに感謝である。

このような中で実施されている各種大会。最後まで勝ち続ける学校はただ一つである。多くの部活動はその時期が異なるけれど、どこかの時点でその道を降りてゆく。

子どもたちの試合を見せてもらう。いつも話すことは、この3点。

- ・人との出会いを大切に
- ・感謝の気持ちを忘れずに
- ・苦しいときこそ頑張る

前々任校でハンドボール部を全国大会常連の強豪に育て上げたT先生の言葉を拝借した。本校ハンドボール部は、つい先日力尽きた。これまで、本当に苦しいときこそ頑張ってきた。



さあ、3年生。これで終わりではない。君たちは試合ができたじゃないか。まずはそのことに感謝。そして、この仲間との出会いに「ありがとう」だ。

切り替えをうまくやって欲しい。そして、一人一人の夢に向かって、こつこつと地道に取り組んで欲しい。そんなことも「**藤高クオリティ**」の一つである。